

平成 26 年度第 8 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 26 年 10 月 26 日（日） 9 時 30 分～16 時 30 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 大集会室
- 3 出席者 平成 26 年度青森市子ども会議委員 17 名（欠席者 14 名）
平成 26 年度青森市子どもサポーター3 名
事務局 3 名
- 4 活動内容 「子どもの権利の日」イベントの準備活動
 - ・ 役割ごとの準備活動
 - ・ 進行のリハーサル

5 開催概要

今回の第 8 回の活動は、11 月 1 日に予定している「子どもの権利の日」イベント開催前最後の活動となります。

プログラムを皆で確認し、大まかな流れを認識した上で、まず、「子どもにやさしいまちづくりに向けた私たちからの提案」を行うために、いろんなところに調査しに行ったり、アンケートを行ったり、自分たちの考えをまとめたりしたことについて、「子どもを取り巻く環境」、「交流」、「観光」、「まちづくり」の 4 つのグループにおいて、発表用のパワーポイントや読み原稿、役割等の最終調整や確認を行ないました。

次に、役割（作品作成班、企画運営班）ごとに、シナリオの再確認や、前回に引き続き作品づくりを行ないました。



作品作成班

前回、当日に展示する予定である子どもの権利の普及用ポスター、紙で作った花や星等の飾り付け品等を作った「作品作成班」。

今回は、子ども会議活動風景の写真の切抜きを大きい模造紙などに貼り付けて、自分たちが子ども会議の活動を行っている様子をイベント来場者の皆さんに見ていただくための作品作成を行ないました。

また、作品作成班が手掛けた、子ども会議活動風景、子どもの権利普及啓発用のポスターや新聞等を展示レイアウトや飾りつけ方法についても、話し合いました。



企画運営班

①進行担当

全体シナリオの最終調整を行ないました。

総合司会を2名、「子どもにやさしいまちづくりに向けた私たちからの提案」時に意見交換等の進行を行うコンダクターを3名で行なうこととしていたため、それぞれの出番やセリフ、動きなどについて確認しました。

②劇担当

劇のシナリオや3つの劇の配役、セリフ等の確認を行いました。

3つの劇は、全て学校での一場面をテーマにしています。なので、劇のキーとなる主人公のほかに、どうしても教室内の雰囲気を出すための生徒役も何人か必要でした。また、劇を行なう前の解説や、劇中クイズを行なう時の進行などを行なうコンダクター役が決まっておらず、「劇担当」だけでは、どうしても人数が足りません。

そこで、急遽「作品作成班」に、劇中のコンダクターやエキストラでの出演をお願いすることとなり、作品作成班の数名が快く引き受けてくれたことにより、ようやく劇の準備が整いました。



ここまでの各班の準備作業を終え、この日の活動の最後は、プログラムに沿った一連のリハーサルを行ないました。

総合司会役2名の進行による「開会」でリハーサルが始まり、市長あいさつ、子どもにやさしいまちづくりに向けた提案、子どもの権利に関する劇と意見交換、市長からの感想、閉会まで、各場面における子ども会議委員やサポーター1人1人の役割と動き、セリフや会場レイアウトを思い描きながらの立ち位置など、1つずつ確認しながらリハーサルを行ないました。

一連のリハーサルを行なったことで、子ども会議委員や子どもサポーター一人一人が、イベント当日の自分の役割や出番等の認識を深めることが出来たようでした。

以上をもって、『平成26年度「青森市子どもの権利の日」フェスティバル FOR CHILDREN～子どもにできること～』に向けた子どもたちの準備活動は、すべて整いました。あとはイベント本番を待つだけです。

